

資源コース(開発・環境) Mining Course (Development/Environment)		継続
対象国の条件:資源外交上重要な資源保有途上国:資源の絆対象国		
研修コース番号:201984607-J002		
案件番号:201984607		
主分野課題:資源・エネルギー/鉱業		
副分野課題:		
使用言語:英語		
案件概要		
現在の鉱物資源開発・利用にあたっては、自然への環境負荷を最低限に抑えたいという限りある地球上の資源を有効利用することが求められている。資源国の絆候補生・卒業生(技官・教官)に対して、この資源利用に係る循環システムの、開発、生産、廃棄物、リサイクル、環境保全・修復の各分野に関する基礎から最新の応用技術を研修する。		
目標/成果	対象組織/人材	
【案件目標】 本研修者が資源利用に係る、開発、生産、廃棄物、リサイクル、環境保全・修復の各分野の基礎から最新技術を学び、持続的な資源開発・利用が為される循環型社会形成を目指した資源開発・利用の知見を、自国にフィードバックする。	【対象組織】 鉱物資源関連省庁、大学機関等	
【成果】 (1) 開発の基礎となる岩石力学・岩盤力学の知見が深まる。 (2) 斜面安定、坑道内応力解析を考慮した採鉱技術への知見が深まる。 (3) 選鉱・廃棄物リサイクリングの技術への知見が深まる。 (4) 環境汚染メカニズム・環境保全・修復技術への知見が深まる。 (5) 環境負荷を最低限に抑えた資源有効利用に係る一連の開発・循環システム研究や最新技術を学ぶことが出来る。	【対象人材】 以下の(1)～(3)をすべて満たす者。 (1) 政府機関およびそれに準ずる機関並びに大学で、開発・環境に係わる40歳以下の者。 (2) 開発・環境分野で3年以上の職務経験(研究・教育を含む)がある技官・教官。 (3) 大学で鉱物資源開発・環境分野に関する学位を取得した者。 (4) 英語能力及びパソコン操作能力を有する者。 (5) 心身とも健康な者。	
内 容	本邦研修期間	2019/10/1～2019/11/13
資源利用に係る循環システムとして環境工学、資源工学、地盤工学の領域に跨り、主として次の基礎から応用の研修科目と実験室研究、フィールド実習から構成されるものとする。 (1) 表層物質の岩石・鉱物・水の相互作用について学ぶ (2) 採掘に伴う岩盤安定性評価について学ぶ (3) 選鉱技術について学ぶ (4) 有用成分の回収技術について学ぶ (5) 廃棄物のリサイクリング技術について学ぶ (6) 環境汚染メカニズムについて学ぶ (7) 環境保全・修復技術について学ぶ	担当課題部	産業開発・公共政策部
	所管国内機関	JICA北海道(札幌)
	関係省庁	経済産業省
	実施年度	2018～2020
主要協力機関	北海道大学、九州大学、秋田大学、三菱マテリアルテクノ	
特記事項及びホームページ		